平成26年度秋田市決算

効果的・効率的な財政運営に努めました

問 財政課☎(866)2052

秋田市の決算資料は、財政課ホームページでもご覧いただけます。
http://www.city.akita.akita.jp/city/fn/mn/

一般会計は約19億円の黒字

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。平成26年度は、歳入から歳出を差し引いた25億9千563万円から、平成27年度に繰り越した事業の財源となった6億9千910万円を除いた、18億9千653万円(前年度比27・6%増)の黒字になりました。

歳入では、企業収益の改善による法人市民税の増加で、市税が1億2千244万円増えました。また、臨時福祉給付金給付事業の実施による補助金の増加などにより、国庫支出金が13億6千847万円増えました。

歳出では、新庁舎の建設事業が本格化したことにより、総務費が14億4千813万円増えました。また、冬期間の降雪量が少なかったことによる除排雪関係経費の減少などにより、土木費が10億8千640万円減りました。

一般会計決算額と歳入・歳出の内訳

歳入▶1,276億7,586万9千円 (前年度比 25億9,735万6千円増)

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
市税	438億2,657万5千円(34.3%)	1億2,243万7千円
地方交付税	231億5,711万4千円(18.1%)	△14億4,403万8千円
国庫支出金	194億5,215万6千円(15.2%)	13億6,847万2千円
市債	145億 480万 円(11.4%)	40億2,730万 円
県支出金	71億6,288万 円(5.6%)	9億3,732万6千円
諸収入	66億7,378万7千円(5.2%)	△1億1,386万3千円
地方譲与税・交付金	55億9,409万8千円(4.5%)	5億6,008万2千円
その他(繰入金、使用料など)	73億 445万9千円(5.7%)	△28億6,036万 千円

歳出▶1,250億8,024万4千円 (前年度比 18億1,024万9千円増)

【目的別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
民生費	439億7,100万2千円(35.2%)	13億6,053万 円
総務費	178億4,811万3千円(14.3%)	14億4,812万6千円
公債費	151億4,077万8千円(12.1%)	△ 2億1,707万3千円
土木費	142億9,871万4千円(11.4%)	△10億8,639万7千円
教育費	104億9,724万9千円(8.4%)	△12億4,428万2千円
衛生費	87億7,022万3千円(7.0%)	5億2,440万9千円
その他(災害復旧、消防など)	145億5,416万5千円(11.6%)	10億2,493万6千円

【性質別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
扶助費	293億5,528万2千円(23.5%)	15億8,781万9千円
人件費	222億4,877万6千円(17.8%)	△4億1,494万4千円
物件費・維持補修費	150億9,603万1千円(12.1%)	△5億4,901万7千円
公債費	151億4,077万8千円(12.1%)	△2億1,707万3千円
投資的経費	141億9,296万5千円(11.3%)	65億4,177万8千円
補助費等	137億8,923万3千円(11.0%)	4億7,970万1千円
繰出金	77億9,414万5千円(6.2%)	△9,504万1千円
その他(貸付金など)	74億6,303万4千円(6.0%)	△55億2,297万4千円

＊項目を合算して掲載しているため、一部構成比が一致しない場合があります。

指標で見る秋田市の財政

自治体の財政の健全性を示す指標に、秋田市の平成26年度決算を照らしてみました(赤字の数値)。

財政力指数▶0.630(前年度0.620)
数値が「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えると財政的に余裕があるといえます。

経常収支比率▶91.4%(前年度89%)
財政構造の弾力性を判断する指標。80%を超えると、硬直化(ゆとりがない)傾向にあるといえます。

実質公債費比率▶11.8%(前年度12.4%)
公債費に充当された一般財源の額が標準財政規模(一般財源の標準規模)に占める割合。国が示す基準値(18%)を超えると、市債の発行が制限されます。

特別会計は約9億円の黒字

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため一般会計と区別している会計です。
全体では、平成26年度の歳入決算額から歳出決算額を差し引いた9億4千218万円から、市有林会計で平成27年度に繰り越した事業の財源となった169万円を除いた、9億4千49万円の黒字となりました。

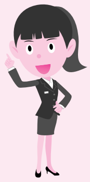
特別会計のおもな内容

■**土地区画整理会計**　秋田駅東地区などの整備
■**市有林会計**　市有林(約2千ヘクタール)の管理
■**市営墓地会計**　平和公園・南西・河辺・北部の各墓地を管理
■**廃棄物発電会計**　総合環境センターの廃棄物発電で生じた余剰電力を、電気事業者へ売却
■**国民健康保険事業会計**　国保税の徴収、保険給付など

特別会計決算

	歳入決算額	歳出決算額
特別会計	694億6,092万4千円	685億1,874万　円
土地区画整理会計	12億7,573万3千円	11億7,326万1千円
市有林会計(※)	1億4,376万6千円	1億2,581万8千円
市営墓地会計	6,162万9千円	5,765万4千円
中央卸売市場会計	1億　124万7千円	9,357万2千円
公設地方卸売市場会計	3億3,683万6千円	3億2,629万8千円
大森山動物園会計	4億7,549万1千円	4億7,549万　円
廃棄物発電会計	4億1,335万1千円	4億1,335万　円
病院事業債管理会計	17億　533万9千円	17億　533万9千円
国民健康保険事業会計	335億9,549万5千円	335億9,200万2千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億2,369万1千円	1,870万2千円
介護保険事業会計	280億　127万8千円	273億4,158万6千円
後期高齢者医療事業会計	32億2,706万8千円	31億9,566万8千円

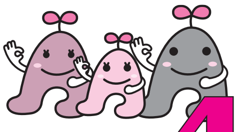
※市有林会計は、27年度への繰り越し財源が1,694千円。



財政メモ

東部市民サービスセンター

■一般会計の「民生費」は、おもに福祉関係の手当や補助、保育所の運営などの経費です。「総務費」には新庁舎建設、東部市民サービスセンター整備費などが含まれます。「土木費」は都市計画、道路や橋の新設・修繕、除排雪、公園の維持管理などです。
■「市債」とは、学校や道路などを整備するために国や金融機関などから借りるお金のことです。平成26年度末の市債残高(特別会計含む)は約1千462億円で、前年度から約45億円増加しました。
■秋田市では「一般会計」「特別会計」のほかに「企業会計」があります。企業会計は、上下水道局の水道・下水道・農業集落排水事業です。上下水道局の決算は、昨年の広報あきた12月4日号に掲載しています。



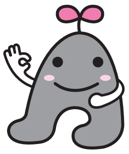
ごみ減量480g みんなで取り組もう！

市では、平成27年3月に策定した「秋田市一般廃棄物処理基本計画」の中で、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源化物を除く)について、平成37年度までの数値目標を480グラムとしました。
この480グラムは、上記排出量の平成25年度実績である527グラムの約10％削減をめざして設定しています。ちなみに国は、平成32年度までに500グラムにすることを目標としています。
これから迎える引っ越しシーズンや夏場などは、例年、家庭ごみが増加する傾向にあります。〝人にも地球にもやさしいあきた〟の実現のため、ごみ減量の新たな数値目標に向け、引き続きみなさんのご協力をお願いします。

1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源化物を除く)の月毎の数値を、今後、広報あきたでお知らせします。減量の目安をチェックしてね！

★表紙の数値は、平成27年4月から平成28年1月までの排出量累計から算出したもので、531グラムは、前年同月と比べ9グラム減少しています。

問い合わせ　環境都市推進課　☎(863)6632



平成26年度家庭ごみ処理手数料の使い道は次のページ